

市民と議会を結ぶ架け橋

議会 上野原市 だより



上野原高校生が
市議会を傍聴!!

特別企画 高校生が議会を傍聴 …2
定例会で決まった主なこと ……4
議決結果等一覧表 ……7
委員会活動 ……8
一般質問 …… 10
第3回定例会のお知らせ他 … 15
市民の声・議会活動他 …… 16



高校生が議会を傍聴

特別企画

の未来を!



今年夏の選挙から、選挙権年齢が18歳以上に引き下げられました。7月10日の参議院議員選挙を目前に控え、有権者となる上野原高校3年生20人が、6月14日、第2回定例会本会議一般質問を傍聴しました。

これは、高校生の政治への関心を高めるため計画されたものです。生徒の皆さんは、初めての経験に緊張しつつも、議員からの質問と市長をはじめとする担当部課長による答弁のやりとりを、真剣に聞き入っていました。

授業で「人口」「環境」「キヌア」について調べていますが、ちょうど3つのことが議論されていたので、とても勉強になりました。

機会があれば、また傍聴に参加してみたいです。



上野原高校3年
石塚 未夏さん

市長さんや議員さんが、私たちの住む上野原のことをしっかり考えてくれているのだと安心しました。

経済のことや市のことについて、もっと関心を持っていたいと思いました。



上野原高校3年
岡本 海里さん

議会でどんなことが議論されているのか、良く知らなかったのが、議会を傍聴することが出来て良かったです。

若い人たちも、上野原のことや、政治について考えないといけないと思いました。



上野原高校3年
若野 歩夢さん

市ではどんな支援を行っているのか、全くわかりませんでしたが、子育て支援センターを中心に、子育てしやすい環境を整えて、活力あるまちにするために議論がされていることがわかりました。



上野原高校3年
水越 可純さん

難しい話もありましたが、議員さんと市長さんが、上野原市をより良くするために話し合っていることが、とても伝わってきました。

選挙は、まだ実感が湧きませんが興味を持ちたいです。



上野原高校3年
鈴木 滉祐さん

上野原に住む私たちのために、何時間もかけて議論が行われていることを、改めて知りました。

これからも、沢山の人の声を聞いて、良い市をつかっていってほしいです。



上野原高校3年
岡本 紗弥さん

市役所には行ったことがありますが、3階に議会があることは知りませんでした。

私のような若者が増えてい我想いますので、もっと若者に、議会や政治のことを知らせてほしいです。



上野原高校3年
佐藤みなみさん

—わたしたちも考えます—

うえのはら



市議会では、未来を担う若い世代の人たちが、議会を身近に感じてもらえるよう、積極的に取り組んでまいります。

市の人口について、こんなに減っているということを知り、驚きました。

私は、将来上野原で働きたいと思っています。

上野原が、より生活しやすくなれば良いと思います。



上野原高校3年
小俣虎太郎さん

(仮称)

新上野原保育所建設工事 請負変更契約締結を可決

第2回 定例会



現在、平成29年4月開所に向け、(仮称)新上野原保育所の建設が進められています。

雨天や猛暑時等における、園児の安全や利便性を考慮して「キャノピー(ひさし)」を設置するほか、健康増進・体力向上のため「のぼり棒」を設置したり、利用者の安全性と道路の高寿命化を図るため、道路のアスファルト面を増工するなどの工事を追加して行うための契約です。

契約金額	変更前	591,300,000円
	変更額	39,548,520円
	変更後	630,848,520円

契約の相手方 長田組土木株式会社
(甲府市飯田4-10-27)

平成28年第2回定例会は、6月6日から20日までの15日間の会期で開催され、市長から提出された条例の改正や、27年度補正予算等の専決処分など、13案件の議案を審議しました。
(仮称)新上野原保育所建設工事請負変更契約締結及び行政防災無線(同報系)デジタル化整備工事請負契約締結については討論が行われ、その賛否について審議した結果、賛成多数で原案のとおり可決。その他の議案については、全会一致で可決・承認されました。

消防署用救助工作車 購入契約締結を可決

現在使用している車両は、25年間の出動に使用され、随所に老朽化が生じており、新たな車両を購入するための契約です。

写真は、購入を予定している車両と同型の救助工作車です。

契約金額 116,100,000円

契約の相手方 株式会社モリタ東京営業部
(東京都港区西新橋3-25-31)



上野原市防災行政無線（同報系） デジタル化整備工事請負契約締結を可決



既存の設備は、古いもので30年以上が経過し、老朽化による故障が頻発しています。

また、平成17年に無線設備規則が改正され、平成34年12月1日以降、既存の設備は使用できなくなります。

このため、交付税算入率が高い、有利な緊急防災・減災事業債を活用し、既存のアナログ設備から、デジタル設備へと更新するための工事請負契約です。

契約金額 453,018,960円

契約の相手方 日本電気・和田電業社上野原市
防災行政無線（同報系）デジタル
化整備工事共同企業体
(甲府市相生2-3-16)

5路線を市道認定

新田地内の道路3路線

- ①松留中新田1号支線
- ②上野原駅南口駅前広場1号支線
- ③上野原駅南口駅前広場2号支線

上野原駅南口駅前周辺整備に伴って、3路線を整備し、市道として認定するものです。



秋山地内の道路2路線

- しもおさきなかのはら
- ④下尾崎中野原線
- おおちがいとかきのきだいら
- ⑤大地海戸柿木平線

山梨県の管理道路のうち、バイパス工事によって旧道となった2路線の移管を受け、維持管理を行うため、市道として認定するものです。

▼平成27年度上野原市一般会計補正予算(第5号)
主に、年度末の各事業の確定に伴う補正です。
歳入歳出予算総額に、それぞれ1億5061万1千円を追加し、それぞれの総額を127億6536万8千円に定めるもの。

(主なもの)
▼上野原市国民健康保険条例の一部を改正する条例制定について
平成28年度税制改正に伴い、平成28年度以後の年度分の国民健康保険税において、課税限度額の引き上げや、5割軽減及び2割軽減基準額の見直しを行うもの。

専決処分

専決処分とは・・・

議会の議決を経なければならない事柄について、議会を招集する時間的余裕がないことが明らかである場合などで、市長の判断で処理すること。次の議会で承認を求めなければなりません。

平成28年第2回定例会議決結果等一覧表

◆賛否のあった議案

(◎賛成討論者 ●反対討論者 ○賛成 ●反対)

議案番号	案 件 名	付託委員会	遠藤美智子	川田好博	久嶋成美	東山洋昭	村上信行	小俣修	川島秀夫	杉本公文	田中英明	山口好昭	長田喜巳夫	杉本友栄	尾形幸召	鷹取偉一	岡部幸喜	尾形重寛	審議結果	
69	(仮称)新上野原保育所建設工事請負変更契約締結について	総務産業	○	●	●	○	◎	○	○	●	○	○	○	○	○			○	○	原案可決
72	上野原市防災行政無線(同報系)デジタル化整備工事請負契約締結について	—	○	○	○	○	○	○	○	◎	○	○	○	○	○			○	○	

◆全会一致の議案

付託番号	案 件 名	結果	付託番号	案 件 名	結果
60	専決処分の承認を求めることについて(上野原市税条例等の一部を改正する条例制定について)	承認	66	平成27年度上野原市継続費繰越計算書の報告について	受理
61	専決処分の承認を求めることについて(上野原市税国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について)		67	平成27年度上野原市繰越明許費繰越計算書の報告について	
62	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度上野原市一般会計補正予算(第5号))		68	上野原市道路線の認定について	原案可決
63	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度上野原市国民健康保険特別会計補正予算(第4号))		70	消防署用救助工作車購入契約締結について	
64	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度上野原市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号))		71	上野原市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	
65	専決処分の承認を求めることについて(平成27年度上野原市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号))				

会期中の審査

総務産業

常任委員会

審査日 6月8日(水)

付託議案を審査

【付託議案】

- 第68号 上野原市道路線に認定について
- 第69号 (仮称) 新上野原保育所建設工事請負変更契約締結について
- 第70号 消防署用救助工作車購入契約締結について

市道路線

5路線を現地調査

付託された3議案について、関係各課職員に説明を求め、その後質疑・採決を行いました。

また、議案第68号市道路線の認定については、併せて現地調査を行いました。

- ① 松留中新田1号支線
- ② 上野原駅南口駅前広場1号支線
- ③ 上野原駅南口駅前広場2号支線
- ④ 下尾崎中野原線
- ⑤ 大地海戸柿木平線



市道路線認定調査(上野原駅南口)



【審査結果】

議案第68号及び第70号については、採決の結果、全会一致で原案のとおり可決すべきものと決定しました。

議案第69号については、全てを設計図に入れて入札するべきところを行っていないという不自然なところがあり反対するとの異議が出されたので、起立採決した結果、賛成多数で原案のとおり

可決すべきものと決定しました。

なお、今後は大きな案件があるときは、事前に情報提供し、話し合いの場を持つことに加え、変更契約締結の際は、変更内容等が判明したら速やかに報告し説明するとともに変更契約の運用を明確にし、再発防止の徹底を行うよう、委員会の付帯意見としました。

第1・第2・島田保育所と新上野原保育所

保育所の状況を調査

現在、建設中の(仮称)新上野原保育所は、上野原第1・第2保育所、島田保育所を統合し、来年4月に開園する予定となっております。

新保育所開園が待たれるなか、各保育所で抱えている様々な問題が、新保育所ではどのように改善・解消されていくのか、各保育所の状況について、現場に出向き調査を行いました。

会期中の審査

文教厚生 常任委員会

審査日 6月10日(金)

各保育所が抱える課題、改善へ 新上野原保育所に期待膨らむ

各保育所共通の課題は、

周辺道路が狭隘で駐車場事情が悪く、園児送迎の際に保護者が苦勞されていることや、施設の老朽化に加え、使用禁止の遊具が複数ありました。

保育所の不足なども挙げられていましたが、新保育所はそれらの課題に対処し、改善された部分が多く、特に子育て支援

センターは、子育てに關

する相談窓口として一層充実したものになっており、保育士の要望をしっかりと取り込んだつくりとなっていました。

また、トイレを各部屋に配置したことや、のぼり棒を設置したこと、現場の保育士からの要望で、子どもたちの保育所での生活や発達に細かな

配慮が施されていたほか、

災害時等の避難路も確保されていました。保育所の壁の色についても、現場で見ると遠くから見ると色よりも明るく、周囲と調和していました。

今後は、運用にあたり細かな安全上の配慮が必要ですが、危険性が確認できたら速やかな対応を図りたいものです。

なお、今定例会の議案

として提出された新保育所建設工事の追加に伴う変更契約締結については、議会の議決を経る前に工事に着工したことがわかりました。これは手続き上、非常に問題があり、

当局に対しては、これまでの経過説明と再発防止策を明示されるよう、強く要望しました。



市政を問う

9人の議員が一般質問を行いました。
質問の要旨をお伝えいたします。

※一般質問の順番は、抽選により決定しています。
※文章は、質問者の責任で作成しています。

◆山口好昭 議員(10p)

- 1 人々が集う魅力あるまちづくりについて

◆長田喜巳夫 議員(11p)

- 1 地方創生について
- 2 28年度の特徴的な事業は
- 3 環境共生都市とは

◆川島秀夫 議員(11p)

- 1 災害・防災対策について
- 2 情報格差解消について
- 3 18歳選挙権について
- 4 運転免許証、自主返納促進策について

◆遠藤美智子 議員(12p)

- 1 地域包括ケアシステムの推進について
- 2 障がい者支援について

◆村上信行 議員(12p)

- 1 市長のチラシによる市政報告について
- 2 市の医療行政について
- 3 地域雇用創造事業について
- 4 情報通信基盤整備事業について
- 5 新保育所の契約変更について

◆川田好博 議員(13p)

- 1 セーフティーネットについて
- 2 移動の利便性について
- 3 起業環境について

◆杉本文 議員(13p)

- 1 大規模災害対策について
- 2 光ケーブル事業について
- 3 人口ビジョンについて

◆久嶋成美 議員(14p)

- 1 入札全般について
- 2 新上野原保育所について
- 3 情報通信基盤整備事業について

◆東山洋昭 議員(14p)

- 1 開始された地域LED防犯灯設置事業の補助事業と市管理の街路灯補助事業について
- 2 地方創生と市の施策について
- 3 職員の資格取得に関する市の考え方について

答弁 経済課長 県営中山間地域総合整備事業は22年から29年に秋山・鶴島を対象として農道、農業用排水路整備、鳥獣害防

答弁 都市計画課長 上野原駅周辺整備事業に着手し継続費予算ベースで事業費16億9992万円となり30年3月の完成を目指します。

答弁 建設経済部長 八ッ沢大柵線の交差点改良を総事業費4億7千万円を実施し、本年3月供用を開始しました。スマートインターの関連事業は25年に事業化決定後、中日本高速道路株式会社八王子支社と協力しながら事業を進め、早期供用を目指しております。

質問 ハード面の環境基盤整備をどのように進め完了したか。さらに着工中のもの、今後の整備について各部署から説明を求めます。

答弁 消防総務課長 消防庁舎の建設が合併特例債

答弁 福祉保健部長 建設中の仮称新上野原保育所は、26年4月に開所した。各課で申し上げた事業は、合併特例債を始めとして緊急防災・減災事業債等、充当率の高い起債を活用しております。今後、将来の市民に負担の少ない、地方債残高がなるべく残らないような財源を選定してまいりたいと思

答弁 福祉保健部長 建設中の仮称新上野原保育所は、26年4月に開所した。各課で申し上げた事業は、合併特例債を始めとして緊急防災・減災事業債等、充当率の高い起債を活用しております。今後、将来の市民に負担の少ない、地方債残高がなるべく残らないような財源を選定してまいりたいと思

答弁 福祉保健部長 建設中の仮称新上野原保育所は、26年4月に開所した。各課で申し上げた事業は、合併特例債を始めとして緊急防災・減災事業債等、充当率の高い起債を活用しております。今後、将来の市民に負担の少ない、地方債残高がなるべく残らないような財源を選定してまいりたいと思



山口好昭 議員

止施設整備・営農飲雑用水整備を総事業費18億2300万円を実施しています。

質問 健全な財政運営が気になるところですが、地方債残高に交付税措置の実績、見込みは。

答弁 企画課長 各課で申し上げた事業は、合併特例債を始めとして緊急防災・減災事業債等、充当率の高い起債を活用しております。今後、将来の市民に負担の少ない、地方債残高がなるべく残らないような財源を選定してまいりたいと思



長田喜巳夫
議員

環境共生都市について

質問

環境問題は、大きくは人類の存続さえも脅かす地球規模の問題とされています。市民、事業者、行政が一体となり循環型社会の構築を目指すべきです。私たちは、次世代に豊かな環境を引き継いでいくことが課題であり大きな責務です。当市においては、特に河川の水質の向上に努めることが必要であり、下水道区域外の合併浄化槽の整備が必要です。費用が伴いますので最大限の軽減措置が求められます。これらの方針を明確にした環境基本計画を策定し、環境共生都市上野原の構築に向け取り組みを進めるべきですが。

答弁 生活環境課長 29年度には、30年度以降の新たな環境基本計画の策定が必要となります。提案のありました件については、この策定の中で検討していきます。

平成28年度の特徴的な事業について

質問 28年度の一般会計の当初予算は、134億3675万8千円の積極的予算で、地方創生に向けた決意が読み取れます。事業の特徴は。

答弁 市長 地方創生総合戦略に基づいた地域活性化を始め、医療・福祉、教育の充実、子育てしやすい環境づくり、環境対策、観光振興、防災対策などの事業を進めます。具体的には、LED化の推進、防災無線デジタル化整備事業、ふるさと納税のネットでのクレジット決済導入、新上野原保育所の完成、総合福祉センター建設、談合坂スマートインター事業、上野原駅周辺整備事業、木製弁当箱開発による地域産業の再興と森林保全、教育基本計画の策定などです。

地方創生について

質問 国の人口ビジョン

策定方針は、国と地方が連携協働し、人口減少に歯止めをかけるとしています。行政の果たす役割は重要です。策定の意義と将来の人口目標は。

答弁 企画課長 意義については、人口や年齢構成の変化、要因について分析を行い、地域の将来にどう影響するか考察し、目指すべき方向を市民全体で共有するものです。目標人口は、平成27年1万3546人を維持、合計特殊出生率を1.03から1.7まで上昇させることです。

川島秀夫
議員

その他質問
◆18歳選挙権について

災害・防災対策について

質問 耐震化、避難場所、食料備蓄、危険箇所、災害弱者への対応は。

答弁 危機管理担当課長 公共建築物は98.1%、民間住宅は84.9%の耐震化率になっています。避難場所の確保及び防災備蓄食料は、地域防災計画に基づき進めています。

答弁 建設経済部長 危険箇所については、県・市・警察・消防団など地元との協力を得て、年1回実施。トンネル橋梁については5年に1回実施して万全を期しています。

答弁 福祉保健部長 要介護度の高い方や基準以上の障害等級の方、1人暮らし高齢者など、地域防災計画に定める避難行動要支援者名簿を作成しました。この名簿により、避難行動要支援者の平時からの見守りや災害支援に活用が期待されます。

情報格差解消について

質問 NTT光ケーブル

ル・インターネットは、旧上野原地区とコモアのみ使用されています。地域住民から情報格差解消のため、300人を超える署名を持ってNTTに嘆願を行いました。市は格差解消のために、NTTと折衝したそうですが、NTTとの経過は。

答弁 企画課長 過日NTTと協議しフレッツ光のエリア拡大への選択が市内全域で可能となるよう要望しました。これに対しNTTは、社内で検討をするという話でした。1日も早く実現してもらえよう、継続してお願いしてまいります。

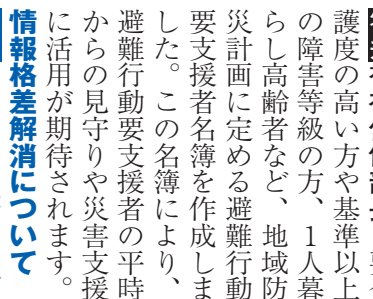
答弁 副市長 エリア拡大につき、市の考えを伝えました。UBCへも、NTTとの折衝を伝えていきます。

運転免許証の自主返納促進について

質問 65歳以上の方が25%を超えて、高齢化が進んでいます。高齢化に

よる痛ましい交通事故が多発しています。この事は個人差があり単純に何歳以上と決めつけるわけにいきませんが、自主返納者に対する支援策を考えませんか。

答弁 生活環境課長 自主返納者の交通手段として、デマンド・タクシーに登録願い利用していただくよう運営してきました。しかし、近年高齢者による事故多発について、未然防止策として、検討を進めていきたいと思えます。



11 上野原市議会だより No.46



遠藤美智子
議員

地域包括ケアシステムの推進について

質問 現在、地域包括ケアシステムは地域で医療と介護が一体的に提供される仕組みを構築することが求められている。当市としての取り組みは。

答弁 長寿健康課長 市内の医療・介護・地域の関係者で設置した「地域ケア会議」において、地域の課題、解決策等を検討していくために多職種連携部会を設置し、取り組んでいるところだ。

質問 医療と介護を合わせ持つ高齢者を支えるためには、居宅の訪問診療等、在宅医療の提供が必要だ。当市の在宅医療体制は。

答弁 長寿健康課長 現在1名の医師で狭義の在宅医療に取り組んでいただいています。在宅医療を含め医療・介護・地域が連携して切れ目のないサービスを提供する仕組みづくりを考えています。

障がい者支援について

質問 厚労省によると近年、発達障がい児の人数が増加しているとのこと。現在、市内の支援学級・支援学校に通学している人数は。

答弁 学校教育課長 市内小中学校の支援学級に29名、支援学校へは小中高等部合わせて83名です。

質問 当市の「第4期障害者福祉計画」に児童福祉法に基づく障害児支援サービスが5つあるが、現在の支援、利用状況は。

答弁 福祉保健部長 27年度の実績では①児童発達支援は利用者2名②医療発達支援は申請者なし③放課後デイサービスは利用者22名④保育所訪問支援は申請者なし⑤障害児相談支援は年々障害福祉サービスを利用する児童が増えていることから、この支援は今後も増加する見込みです。

意見 5つの支援サービスのうち、②と④は利用

申請がないとの事だが、決まらなければならない申請しないということではなく、利用したいが市内に利用できる施設が少ないことと、利用できる施設が遠いなどの理由で申請できないのではないかと。
要望 改正障害者自立支援法は、身近な地域で支援を受けられ、障害特性に応じた支援の提供がされるよう、質の確保を図ったもの。今後、障がい児に対する柔軟な支援サービスを要望します。



市の医療行政について

質問 都留市では県と協議の中、産科が設けられる方向で進んでいるが、上野原市はどうか。

答弁 市長 県が医療保健計画によりやっています。上野原市がどうのこののできる問題ではありません。県が選んだのが都留市ということだ。

意見 東部医療圏の3つの市立病院長の経験のある市長が、マニフェストで産科を作ることを約束した。期待した市民はその答弁に納得できない。県や都留市、大月市、富士吉田市へ、どのように汗をかいたか聞いたか。市の医療行政への基本姿勢を質問したかったが今の答弁でその必要はないと考えます。

地域雇用創出事業について
質問 3年間の事業だが初年度の執行状態は。

答弁 経済課長 約1404万円委託額で、執行額945万円でした。45



村上信行
議員

8万円を国へ返納しました。

意見 返納したことは市にとって損失である。新保育所の契約変更について

質問 変更契約の対象は当初の設計段階から決定していたのか。

答弁 福祉保健部長 当初から入っていました。
質問 入札時に業者に追加工事の有無を知らせていなかったということか。

答弁 福祉保健部長 そのとおりだと思います。
質問 随意契約による追加工事があることを知っていたのは市職員と設計事務所だけだったのか。

答弁 福祉保健部長 そのとおりです。
質問 設計変更は随意契約に繋がる意図的なものを感じられる。これは国の通達にも違反し、市長のマニフェストにも反すると思うが。



おり発注できれば理想的でした。また国の補助金の関係がありこのような状況となりました。

意見 工事を当初から2段階に分けて計画したことに整合性はない。この保育所建設には病院跡地や、返還が遅れた敷金、構内通路、建物の配置、行政訴訟、1千名を超える署名請願など多くの問題が投げかけられていた。さらにこの随意契約は市民の疑惑を招くものと危惧する。

その他質問
◆市長のチラシによる市政報告について
◆情報通信基盤事業について



川田好博 議員

その他質問

◆起業環境について

セーフティネット

質問 就学援助の改善の取り組みは。

答弁 学校教育課長 支給対象者の基準、支給時期、周知方法の改善の検討を行っています。

質問 県営住宅の誘致は。

答弁 都市計画課長 立地条件の良い候補地があれば、県に提示したいと考えています。

質問 市営住宅のバリアフリー環境は。

答弁 都市計画課長 小沢東団地では入居者が退去したときに段差の解消などを行っています。昇降機の設置は困難な状況です。

質問 市営住宅の建替えについて考えるべきではないか。

答弁 都市計画課長 長期的なスパンでは、集約して建設すべきだと考えています。

質問 空き家バンクの登録が少ない原因は。

答弁 企画課長 周知や掘

り起こしに問題があると考えますが、特命担当の設置・地域おこし協力隊の配置で対応しています。

質問 1988年の国民健康保険の国庫負担率は49・8%だった。2014年度は23・68%だ。国庫負担の増額を求めることは。

答弁 市民部長 今後とも要望していきたい。

質問 国保税は負担が重いのでは。

答弁 市民部長 多くの課題があることは認識しています。

移動の利便性

質問 四方津駅周辺の国道の歩道設置の事業化が発表されたが。

答弁 都市計画課長 国道の事業が本格化したと認識しています。

質問 四方津駅周辺全体のバリアフリー化で市の方針は。

答弁 都市計画課長 今年度中に整備方針を決めていきたいと思えます。



杉本公文 議員

その他質問

◆光ケーブル事業について

大規模災害対策について

質問 当市の最大地震被害想定は、死亡者125名、重症症者1310名、建物では、全壊2586棟、半壊2022棟、焼失13棟、断水7397世帯、住居の制約世帯3942、人数1万2401名となっている。これらの被害に備えるため、避難所20カ所への直行職員、及び要領に規定する災害調査員の任命と配備はしたのか。

答弁 危機管理担当課長 震度6弱以上の地震発生時は、職員を直行させることは危険があり余震がおさまらず、安全が確保された後、職員を派遣します。災害調査員については指名していないが、有事の際に職員の安否等を確認しながら出動できる職員を指名します。

質問 防災計画の目的は減災のために事前に備えるとしている。よって調査員も事前に任命すると規定してあるが、市長は

前回、指示してあるので任命してあると思うと答弁しているが、担当課長の答弁との整合性は。

答弁 市長 任命の指示は出していますので、これはやらなければいけない事だと思っています。

質問 避難所計画で収容可能人員3204人。市内の避難予定者数は2025人、他に滞留旅客と帰宅困難者3029人が想定され合計すれば5千人を越え、収容数が不足となる。さらに滞留旅客等の避難先が島田小中学校となっているが、鶴島地区の避難者はどこに避難するのか。また、どちらを優先するのか。

答弁 危機管理担当課長 当然、そこを指定する際に調整ができていないと思う。その辺については調査をさせていただいて報告したいと思えます。

質問 市内に産産できる施設が無いので、100

人程度の方が市外の病院等で出産している。公約であった出産環境の改善が困難なら、せめて交通費の援助はできないか。

答弁 市長 私が最初に公約した、産める、育てられるまちづくりは、今でも私の大きな目標の1つで努力をしています。議員の提案も十分に検討に値すると思っております。今後さらに精力的に取り組みでまいりたいと思えます。

避難場所の確認を!

質問 市内に産産できる施設が無いので、100

人程度の方が市外の病院等で出産している。公約であった出産環境の改善が困難なら、せめて交通費の援助はできないか。

答弁 市長 私が最初に公約した、産める、育てられるまちづくりは、今でも私の大きな目標の1つで努力をしています。議員の提案も十分に検討に値すると思っております。今後さらに精力的に取り組みでまいりたいと思えます。

避難場所の確認を!

質問 市内に産産できる施設が無いので、100

人程度の方が市外の病院等で出産している。公約であった出産環境の改善が困難なら、せめて交通費の援助はできないか。





久嶋成美

議員

その他質問

- ◆新上野原保育所について
- ◆情報通信基盤整備事業について

業者が行っているがなぜか。

質問 入札参加資格の決定までの流れと予定価格の決め方、また、どこを重点項目としてチェックするのか伺います。

答弁 総務部長 契約事務手続きに沿い、各課から提出された案件を総務課で取りまとめ、上野原市建設工事等指名業者選考会議の中で決定しています。予定価格の決め方ですが、担当課で設計または見積りを徴した価格をもって予算執行何をしてその額を予定価格としています。どこを重点的にチェックするかという点ですが、市内業者に配慮をする中で、上野原市建設工事等入札制度合理化対策要綱の規定に基づき、過去の契約実績、地理的条件、技術者の状況などを踏まえて決定しています。

質問 新年度の入札結果を見て、可燃物ごみ収集の業務を、落札者と違う

業者が行っているがなぜか。

答弁 総務部長 1度目の入札が不調に終わったため、2度目の入札については周知から落札する業者の準備期間が必要になり、当初の入札は4月1日から業務の予定、2度目の入札については10月以降の業務執行という点でこれまでの業者が9月まで引き続き業務を行い、そこで交代という事です。

質問 新たに落札した業者は、準備期間に半年もかかるのか、入札参加資格の要綱に基づいているのか。

答弁 総務部長 1度目の入札が不調に終わったために2度目の入札では実績要件を外しています。その結果今回のような結論が出たという事です。

意見 条件を変えて実績を外したと答弁しましたが、これは大きな問題です。廃棄物処理及び清掃



に関する法律の中では、実績を重要視していません。実績がないと地域に密着した仕事ができない。また、地元業者の育成にもならない。落札した後、車を準備する期間を設けるなんてありえない。何のために入札参加資格申請を出すのか。法律の中で条件としてある実績を外し、車もない準備不足の業者に落札させたという事は、最終的に印を押した市長の責任です。



東山洋昭

議員

その他質問

- ◆地方創生と市の施策について
- ◆職員の資格取得に関する市の考え方について

の2分の1を補助する事業を開始しましたがその後、議長名でこの補助事業の拡充を求める要望書が提出され、5月1日付けから1灯につき、2万円を補助限度とする部分だけとし、総経費の2分の1に要綱を変更しました。

質問 開始された地域LED防犯灯設置事業の補助事業と市管理の街路灯補助事業について

答弁 昨年9月、12月議会です。市長及び総務部長は、「この事業については前向きに検討します。また補助要綱見直しを視野に検討します」と答弁しています。そしてこの3月議会です。それが実行に移され、防犯灯LED化推進要綱の中の1灯当たり2万円限度かつ総経費の2分の1まで補助という要綱を作りました。ただ私はこの要綱だと、区・自治会への普及の足かせになると強く危惧し、その2分の1までの削除を強く訴えてきました。そこで補助要綱が4月1日付けと5月1日付けでどのように変更になり、どのような使い勝手が良い仕組みになったのか。

答弁 総務部長 4月1日付けで1灯につき、2万円を補助限度かつ総経費

していることから残る44団体の1500灯余りの補助金は、9月議会の補正予算等の提出で対応して行く考えです。

意見 今回の当初予算分の8団体、計316灯の防犯灯の交換事業は全て市内の電気工事業者が工事を行ったと聞いています。今後もしそれに向けて、それを踏襲しながら市内の電気工事業者の積極的な利用を各地区に要請し、地域経済活性化に努めていただきたいと強く要望しておきます。

質問 今、議長名で補助事業の拡充を求める要望書が提出されたとの答弁がありました。これに対して市長は議会とともに市民目線に立った政治決断をされ、速やかに要綱変更をされたことに対して、私は高く評価いたします。そこで今後の予算措置についてはどのような考えを持っているのか。

答弁 総務部長 これまで52の自治会から合計1821灯分の事業実施の意思表示がされています。このうち8団体が計316灯の防犯灯の交換事業を現在実施しています。既に当初予算額に達

していることから残る44団体の1500灯余りの補助金は、9月議会の補正予算等の提出で対応して行く考えです。





主要地方道上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会総会に出席

平成28年5月24日、小菅村役場会議室において、主要地方道上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会総会が行われました。

丹波山村、小菅村、上野原市の各首長や議員など、多数の関係者が出席しました。



主要地方道上野原あきる野線建設促進協議会定期総会に出席

平成28年7月5日、島田コミュニティーセンターにおいて、主要地方道上野原あきる野線建設促進協議会定期総会が行われました。

檜原村、上野原市の各首長や議員など、多数の関係者が出席しました。

第3回定例会 傍聴のご案内



市議会は公開されており、どなたでも傍聴できます。ご希望の方は、会議当日、市役所3階議会事務局受付までお越しください。

- 9月5日（月） 本会議（議案上程等）
- 7日（水） 総務産業常任委員会
- 9日（金） 文教厚生常任委員会
- 13日（火） 一般質問
- 14日（水） 一般質問
- 15日（木） 一般質問（予備）
- 16日（金） 決算特別委員会
- 20日（火） 決算特別委員会
- 21日（水） 決算特別委員会（総括）
- 27日（火） 本会議（議案審議等）

※日程は、変更になる場合もあります。

正式には、定例会の本会議（初日）に決定します。

平成28年熊本地震に対する義援金を送りました

熊本地震により被災された方々に対し、心からお見舞い申し上げますとともに、犠牲になられた方々のご冥福を謹んでお祈り申し上げます。

上野原市議会では、被災地に対して義援金をお送りしました。議員一同、一日も早い復旧・復興をお祈りいたします。

議会活動

4月

- 4日 日本大学明誠高等学校入学式
- 5日 議会だより編集常任委員会
- 6日 上野原市立小学校入学式
- 8日 上野原高等学校入学式
- 10日 第64回秋山地区慰霊祭
- 12日 『上野原駅南口昇降施設棟外建設工事』安全祈願祭並びに竣工式
議会だより編集常任委員会
- 13日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 18日 平成28年度市政功労者等選考審査
- 19日 議会だより編集常任委員会
第255回山梨県市議会議長会定期総会(韮崎市)
- 24日 第12回上野原市バレーボール連盟春季大会
第37回福祉芸能大会
- 25日 平成28年度市町村長及び市町村議長(甲府市)
- 26日 第82回関東市議会議長会定期総会(さいたま市)
- 27日 議会だより編集常任委員会
- 29日 戦没者慰霊祭(大目地区)

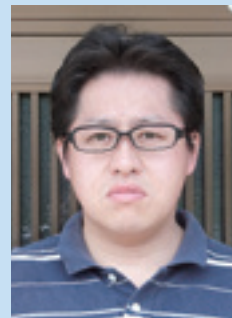
5月

- 3日 第41回郡内少年野球大会
- 13日 第44回全国自治体病院経営都市議会定期総会
- 16日 平成28年度リニア中央新幹線建設促進山梨県期成同盟会総会及び講演会
- 19日 上野原市母子寡婦福祉連合会総会
- 21日 第12回太陽のつどい
- 24日 主要地方道上野原丹波山線今川トンネル建設促進期成同盟会総会
主要地方道上野原丹波山線道路整備推進連絡協議会総会
- 26日 平成28年度市政功労者等表彰式
上野原市商工会第11回通常総代会
- 29日 上野原市体育祭り
- 30日 議会運営委員会・議員全員協議会
- 31日 第92回全国市議会議長会定期総会

6月

- 4日 上野原市障害者福祉会第10回定期総会
- 6日 上野原市議会第2回定例会本会議(開会)
- 8日 総務産業常任委員会
- 10日 文教厚生常任委員会
- 12日 八重山トレイルレース
- 14日 市政一般に関する質問
- 16日 市政一般に関する質問
- 20日 上野原市議会第2回定例会本会議(閉会)
- 23日 議友会総会
- 24日 上野原市観光協会定期総会

市民の声



星を観る会実行委員会
委員長 原田明仁さん

『星の数は何の数?』

私どもは、秋山地区育成会会員を中心に『星を観る会』を開催しております。本年度3回目を迎える運びとなりました。秋山小学校に勤務しておられた先生の協力により、星や宇宙に関する講

演やテント内で観る事が出来る移動式プラネタリウムを用いたり、校庭にシートを敷き、寝ながら空を見上げる観望会などを小中学生に体験してもらっております。特に観望会では、国際宇宙ステ

ーションや土星などを見る事ができ、初めて見る土星の輪を大人も子供も一緒になって望遠鏡をのぞいておりました。また、昨年は市教育委員会の協力により、県立科学館の先生にお越し頂き科学の実験を体験させて頂きました。

これまで、多くの方に支えられて開催することができましたが、子どもたちを取り巻く環境も刻一刻と変わっております。秋山の良さを伝えながら新しい事を学習、体験させ、子どもたちに星の数

ほど人生の道があることを知って頂ければ幸いです。そのためにも子どもたちが楽しく学び遊べ、かつ大人も安心・安全に住める環境整備を進めて頂きたいと思えます。

最後になります。今年8月6日土曜日、16時30分より秋山小学校で開催予定です。市内の小中学生のご参加をお待ちしております。

子どもたちの笑顔がいつまでも輝きつづきますように・・・

編集後記

18歳選挙権拡大になって、初めての国政選挙。新有権者諸君を含め、私たちの国政に対する期待が、本当に届いたのでしようか。期待を託した議員のこれからを注視したいと思えます。

この6月議会には、当市議会始まって以来初めて、高校生20人が、議会傍聴に来てくれました。表紙写真のように真剣な面持ちで議会の様子を注視していました。

新有権者諸君を始め市民の皆様の新鮮な視点で、これからの住みよい上野原市のための提言発信をお待ちしています。

議会だより編集常任委員会

- | | |
|------|-------|
| 委員長 | 久嶋 成美 |
| 副委員長 | 遠藤美智子 |
| 委員 | 長田喜巳夫 |
| 委員 | 川島 秀夫 |
| 委員 | 東山 洋昭 |
| 委員 | 川田 好博 |



発行 / 上野原市議会 山梨県上野原市上野原 3832 番地

編集 / 上野原市議会だより編集常任委員会

TEL : 0554-62-3344(直通) FAX : 0554-62-5344

URL : <http://www.city.uenohara.yamanashi.jp>

E-mail : gikai@city.uenohara.lg.jp

印刷 / カヤマ印刷
上野原市上野原 3768
TEL 0554-63-0188